

# チャレンジ通信

埼玉県議会自由民主党議員団

## なかやしき慎一

### 卯月に思う

37日間の長かった2月議会も終わり新年度を迎えました。でも、今年はコロナウイルスのまん延拡大で、「希望の春」とは言いがたい状況が続いています。

人生の節目である卒業式や入学式も変則の形で行うほどの深刻な状況です。

28日現在の県内での陽性確認者は82名、既に22名の方は退院されたとの事ですが、2名が亡くなり、4名が重症との事です。28、29日の土日には感染のピークを遅らせるべく、大野知事から県民の皆様へ、不要不急の外出自粛のお願いがなされました。正にこれからの数週間が正念場だろうと思います。

市民の皆様も、手洗い・咳エチケットを励行頂き、①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近で会話や発声をする密接場面にご注意頂き、特に③の「密」が重なる場面を避けて頂きたいと思えます。

皆さん見えない「敵」から身を守りましょう。

### 県議会2月定例会報告 過去最大となる新年度予算決まる

## 令和2年度一般会計予算 約1兆9,614億円

# 安心・成長・埼玉の新時代を創る！

県議会2月定例会は3月27日、過去最大となる令和2年度当初予算1兆9,603億1,500万円（一般会計／補正後累計：1兆9,614億3,464万3千円）をはじめ、新型コロナウイルス緊急対策費として総額約35億円となる補正予算等を議決し閉会しました。

新年度予算は、去年の台風19号による甚大な被害やCSF（豚コレラ）の発生などを受け、危機管理体制及び防災・減災対策の強化が図られた内容となっています。また、埼玉経済の成長を支える施策が充実しています。

自民党県議団は今後も、防災・減災対策の強化をはじめ、福祉・教育の充実、経済成長とインフラの整備など、埼玉県の発展と住みよい暮らしを実現するため、あらゆる政策を提言してまいります。



↑フラワーホワイトデー×フラワーウォークの報告に、埼玉県花卉園芸組合連合会の皆さんが、神尾議長をお訪ねくださったので同席させて頂きました。



討議資料



発行者  
県議会議員 中屋敷慎一  
〒365-0039  
鴻巣市東3-11-18-103  
TEL 048-541-8110  
FAX 048-541-0256



### 自民党県議団でコロナ対策の緊急要望

## 緊急対策費として 総額約35億円を計上!!

新型コロナウイルスの拡大を受け、自民党県議団は2月13日に緊急要望書を大野知事に提出。県は元年度予備費から約8千万円を充当して、24時間の専用電話相談窓口「県民サポートセンター」の開設などを進めました。

2月定例会では、第2弾として補正予算約4億5千万円を議決。さらに国の新型コロナ特措法の改正案成立を受け、第3弾として補正予算約30億円を議決しました。検査システムの強化や受診体制の整備をはじめ、医療機関等のマスク・消毒液の緊急調達、中小企業への新たな融資支援などが盛り込まれています。

### 自民党県議団が提案・可決！ 全国初!! ケアラー支援条例

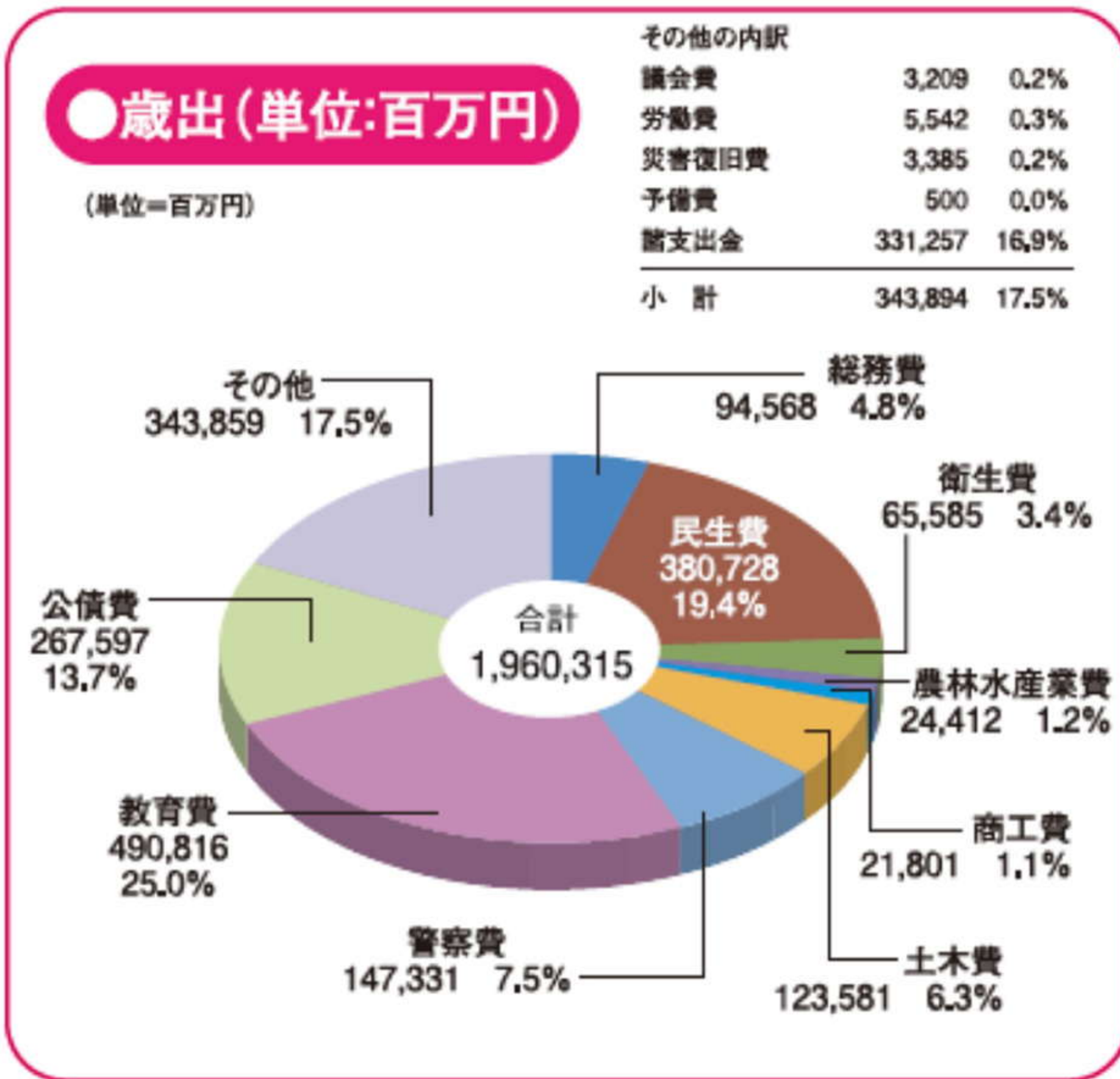
県議会2月定例会において私たち自民党県議団は、家族などを介護・看護するケアラーを支援するための「ケアラー支援条例」と「受動喫煙防止条例」を提案し、賛成多数で可決されました。

埼玉県は急速に高齢化が進んでいます。「ケアラー支援条例」では、ケアラーが孤立しないように十分配慮するとともに、県は市町村、関係機関、事業者及び民間支援団体と相互連携を図り支援に取り組まなければならない

いと定めています。

また、18歳未満のヤングケアラーに対する教育機会の確保などを求めています。施行は3月31日からになります。

「受動喫煙防止条例」は、今年4月改正の改正健康増進法を補完するもので、客席面積100㎡以下の飲食店も原則禁煙とし、ただし従業員がいない場合や全従業員の承諾がある場合は喫煙できると定めています。施行は県民への告知期間を十分に設けるため来年4月1日としています。



# 令和2年度当初予算 主な新規事業を報告します



## 災害に強い埼玉を創るために

- 激甚化する降雨への対応(県土整備部)
  - 新 県土強靱化緊急治水対策プロジェクト……………8,509百万円
    - \*漏水・浸透対策、\*溢水・越水防止対策、\*浚渫の強化など
  - 拡 激甚化する降雨に対応する総合的な治水対策……………10,302百万円
- 被災者支援制度の拡充(危機管理防災部)……………181百万円
  - 拡 県・市町村被災者安心支援制度を拡充し半壊世帯を支援
- 危機や災害に強い体制づくり(危機管理防災部・警察本部)……………201百万円
  - 拡 危機や災害に対処する具体的なシナリオの作成及び図上訓練の実施による関係機関との連携強化(埼玉版FEMA)、危機管理防災センターの大型映像装置改修、\*警察活動で活用する装備資機材の整備など
- CSF(豚コレラ)対策の実施(農林部)……………87百万円
  - 拡 CSFワクチンの接種及び抗体検査、野生いのししの検査、
  - 新 ブランド豚の受精卵を凍結し遺伝子を保存など



## 県民の安全な暮らしを守るために

- 警察官の実質的増員(警察本部)……………69百万円
  - 新 長期研修生の定数枠を有効活用し警察官15人を実質的に増員
- 交通事故防止(県民生活部・警察本部)……………64百万円
  - 新 高度交通事故分析システムの構築、\*横断歩道の歩行者優先意識の普及、\*事故多発時の緊急対策の推進など
- 運転免許証更新時の高齢者講習の受け入れ枠の拡大(警察本部)……………87百万円
- 高齢運転者の安心・安全事業(県民生活部)……………4百万円
  - 新 シルバー・サポーター制度の周知、協賛事業者の拡大、\*高齢者運転免許証自主返納サポートセミナー等の実施など
- サイバー犯罪の対応力強化(警察本部)……………29百万円
  - \*サイバー犯罪対処能力養成のための研修の強化、新 解析用ソフトの購入など



## 医師確保・医療体制の強化のために

- 医療提供体制の強化(保健医療部)
  - 新 後期研修医の獲得・定着……………54百万円
    - \*後期研修病院に指導医及び専門医をチームで派遣、\*研修資金貸付枠の拡充など
  - 新 医師の職場環境の改善支援……………4百万円
    - \*産科医師の負担軽減のため、院内助産所・助産師外来の開設を支援
  - 拡 在宅医療提供体制の充実……………98百万円
    - \*アドバンス・ケア・プランニングの普及など
- 救急医療体制の強化(保健医療部)……………279百万円
  - 新 ドクターカーを活用した救急医療体制の充実など



## オリンピック・パラリンピック成功に向けて

- 東京2020オリンピック・パラリンピック開催
  - 新 大会の成功に向けた取り組みの実施(県民生活部)……………1,629百万円
    - 新 大会期間中イベントの開催、新 聖火リレーの実施、ボランティア活動の運営など
  - 新 大規模警備等のための装備・体制強化(危機管理防災部・警察本部)……………699百万円
  - 拡 関連イベントの実施(県民生活部・産業労働部・農林部)……………285百万円
    - 拡 「世界ゴールド祭2020」「埼玉WABISABI大祭典2020」の開催など
  - 新 レガシーの創出(県民生活部・福祉部・都市整備部)……………278百万円
    - 新 観戦機会の提供、\*パラリンピックレガシーとして障害者アートの魅力を生かしたイベントを開催など
- オリンピック・パラリンピックを契機とした外国人観光客の誘致(産業労働部)……………32百万円
  - 新 外国人観戦客を対象にした観光コースの案内、新 サイタマツーリズムメディアセンターの設置など



## 地域経済を元気にするために

- 先端産業創造プロジェクトの推進(産業労働部)
  - 新 医療・ヘルスケア機器等の開発・事業化支援……………156百万円
  - 拡 新エネルギー製品の開発・事業化支援……………40百万円
    - 新 CEMS事業への参入支援、\*開発製品等の販路開拓に対する支援
  - 航空・宇宙、モビリティの事業化支援……………104百万円
  - 拡 ロボット・AI・IoT等の開発・導入支援……………279百万円
    - \*AI活用機器等の開発や実証に向けた支援、新 簡易で安価なボードコンピュータを活用したもののづくり企業のAI・IoT化支援など
  - 拡 事業化の促進……………68百万円
    - 新 社会課題の解決に向けたオープンイノベーションの支援、\*先端産業支援センター埼玉の運営など
- 県内企業の海外ビジネス展開支援(産業労働部)……………110百万円
  - 新 海外ビジネスに関する県内企業のニーズ等を把握する調査の実施
    - \*ジェトロ海外事務所との的確な役割分担に基づいたビジネスサポート拠点の運営、\*海外における現地大学と連携したジョブフェアの開催など
- 渋沢栄一創業プロジェクトの推進(産業労働部)……………56百万円
  - 拡 伴走型の創業支援=成長意欲のあるベンチャー企業等に対して、先輩起業家や専門家等による助言指導、ビジネスマッチング・資金調達等の伴走型の支援を実施、新 「(仮称)渋沢栄一起業家サロン」の検討
- スポーツ・芸術のすそ野拡大、産業化
  - 新 オリ・パラを契機とした文化芸術の発信と活性化(県民生活部)……………189百万円
  - 拡 スポーツの産業化に向けた支援(産業労働部)……………13百万円
    - \*県内スポーツ産業の成長産業化に向けた支援策の検討など
- 商店街・中小企業への支援(産業労働部)
  - 拡 商店街振興の推進……………69百万円
    - \*集客事業や施設整備に取り組む商店街に対する助成、\*意欲の高い地域に対して専門家を派遣するNEXT商店街プロジェクトの実施など
  - 新 プッシュ型中小企業支援の実施……………27百万円
    - \*「省力化・省人化」「外国人人材活用」「事業承継」の三大課題について専門的アドバイザーによる訪問支援など
- スマート農業の推進(農林部)……………58百万円
  - 新 スマート農業普及推進研究会の設置、モデル経営体による実証(4か所)、施設園芸の省力化に必要なスマート農機の導入を支援(6か所)など
- スマート林業の推進(農林部)……………92百万円
  - 新 航空レーザ・ドローンレーザを活用した森林資源調査の実施、新 丸太仕分け作業及び需給情報を共有化するための丸太自動認識システム等の導入支援など



## 未来を切り拓く基盤づくりのために

- 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進(環境部)……………39百万円
  - 新 庁内検討チームを設置し、今後の課題について市町村ヒアリング及び民間企業との意見交換の実施、新 市町村の希望に応じた専門家の派遣、市町村の地域特性を踏まえたまちづくり方策の検討・提示など
- エネルギーの効率的な利用の促進(環境部)……………201百万円
  - 新 IoT等を活用した省エネ設備の導入に対する助成、新 エネルギー使用量が多い中小企業のCO<sup>2</sup>削減対策実施状況を見える化、新 民間企業からの寄附を活用する新たな仕組み等による市民共同発電事業の支援など
- 市町村のコンパクトシティの取組推進(都市整備部)……………18百万円
  - 新 将来人口分布や高齢化の進行状況、商業施設の立地などのデータを収集・分析し、「見える化」を実施など
- 埼玉版SDGs\*の推進(企画財政部・環境部・県民生活部・産業労働部)……………14百万円
  - \*全庁的にSDGsを推進する体制の整備、\*官民で構成するコンソーシアムの設置、\*SDGsを自ら取り組む事業者・団体を登録する「SDGsパートナーシップ制度」(仮称)の創設、\*取り組み事例の発信、\*環境関連団体等との連携による取り組み促進、\*啓発フォーラムの開催
- 「あと数マイルプロジェクト」の推進
  - 新 公共交通の利便性向上策の検討(企画財政部)……………14百万円
    - \*有識者会議の設置、利便性向上策や交通流動の調査実施
  - 新 ミッシングリンクの解消による道路網の多重化(県土整備部)……………4,260百万円
  - 新 産業拠点を支えるインフラ整備(県土整備部)……………1,016百万円
  - 新 ボトルネック箇所の解消による円滑な交通の確保(県土整備部)……………984百万円

\*SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年に国連開催のサミットで決められた国際社会共通の目標。「貧困をなくす」「質の高い教育の提供」「働きがいと経済成長の両立」など17の分野別目標と、169項目の達成基準からなる。